

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	消防局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	消防局総務課
	施策	消防・救急の充実強化		電話番号	087-861-2502
	基本事業	消防施設・設備の整備		事業実施主体	市
	事務事業	消防署所適正配置整備事業		事業期間	平成28年度～平成33年度

【事業全体概要】

事業の概要	南海トラフ地震等の大規模災害時にも防災拠点施設としての機能を維持するため、消防署・分署及び出張所の耐震化を行うとともに、効率的・効果的な消防体制を整備するため、消防庁舎の移転整備や機能統合を行うなど、消防署所配置の適正化を図る。				
30年度概要	東消防署山田出張所整備 ・出張所建設設計業務委託等 ・旧有線放送施設解体等				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象(何を)	消防署所
意図(どのような状態にしたいか)	消防署・分署・出張所の防災拠点施設としての機能を強化し、消防署所を適正に配置する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
整備署所数	箇所		1	1		1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	消防署所の耐震化率	%	目標値			91	91	100
			実績値		83	91		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 100.0%
	計画どおりに、耐震化率の向上を図ることができた。今後、2020年度末には耐震化率100%を達成できる見込みである。	(目標達成度)			35点			
成果指標	消防署所数	箇所	目標値			12		
			実績値		12	12		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 100.0%
		(目標達成度)			35点			

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	901,245	627,168	9,956	29,847
(事業費)	[千円]	896,255	622,065	5,024	24,915
(職員人件費)	[千円]	4,990	5,103	4,932	4,932

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

北消防署朝日分署を移転整備し、消防署所配置の適正化は完了した。引き続き耐震化未了の出張所の整備に取り組む必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

2020年度の事業完了に向け東消防署山田出張所の整備に取り組む。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	消防局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	消防局情報指令課
	施策	消防・救急の充実強化		電話番号	087-861-2500
	基本事業	消防施設・設備の整備		事業実施主体	市
	事務事業	消防緊急情報システム整備事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要  
 整備後10年以上経過した車載端末装置及び署所端末装置の更新を行うとともに、消防指令システムの機器の再リースを行うことにより、火災を始めとした通報の迅速・的確な受信体制を構築して災害現場における情報伝達体制を向上させ、効果的な災害活動を実施し、住民がより安心して暮らせる、安全な街づくりに貢献する。無線設備・機器を、高機能消防指令システムの運用開始後に旧システムを、廃棄物の処理及び清掃に関する法律を始めとした各種法令に従い、適法に処理する。

30年度概要	消防緊急情報システム機器賃借	7,259千円
	消防緊急情報システム機器撤去	8,047千円

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理
--------	------	----------	---------	--------------

【事業の目的】

対象(何を)	消防緊急情報システム
意図(どのような状態にしたいか)	災害活動時における情報伝達体制の充実・強化を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
前年度からの進捗率	%		8	7	2	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標	事業全体進捗率	%	目標値		95	98	100	100
			実績値		90	97		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 99.0%
								34点
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	75,733	132,111	175,240	30,480
(事業費)	[千円]	52,702	116,409	160,066	15,306
(職員人件費)	[千円]	23,031	15,702	15,174	15,174

【評価】

評価ランク(A~D)	A	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	完了
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

一部整備を繰り越していた端末装置については運用を開始した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

指令システム撤去について、高機能消防指令システムの運用開始後に、旧システムを廃棄物の処理及び清掃に関する法律を始めとした各種法令に従い、適法に処理する。